

認定講師・ジェルマスター資格者各位

日本アイスフラワーアカデミー
事務局 大友裕隆

今年も数日を残すのみとなりました。皆様お元気でしょうか。

今年には兵庫県の芦屋市に認定教室「プティット・フルール」を開室されております認定講師の古林喜久子先生がテレビの取材を受けましてから、あれよあれよと忙しくなり、一気に時間が過ぎていってしまった、そんな JIFA の 1 年でした。古林先生に改めて感謝申し上げます。

さて今年最後のお知らせを申し上げます。

「アイスフラワーが入荷しました」

(ローズ)

エスペランス・ルビーレッド・ピアノ・テンガベンガ

(スプレーローズ)

ペピタ・ダークピンク

(アジサイ) どちらも日本上陸が初です。

ミックス・グリーン

その他カーネーション等いくつか種類が入っておりますのでお問い合わせください。

ガーベラは 3 種類入荷しましたが、予約でほぼ完売の状況です。

ただしジェルマスター認定 1 級のレッスンには必須の花ですので、教室向けに一定の数を確保しておりますのでご安心ください。

「新ジェル 965 について」

夏場の暑さに強いジェルとして開発した「ジェル 965」ですが、冬場の温度環境もあり使用温度を若干高めにした方が制作に適しているようです。

初めの被膜処理は 92～95℃で 2 面の処理（4 面の処理は途中でジェルが固まるため）をします。

次からは 80～85℃の範囲で充填処理をして、最後は初めに戻って 92～95℃で中板の処理をします。

湧き出る空気や隙間の空気処理は最低限の手直しにしましょう。手直した個所の気泡を無くすための処理温度がかなり高めで、時には 115℃を超える事が必要な場合がありますので、花やアクリルに負担がかかります。

「ジェル 965 缶の内側に付着したジェルの取り方」

ホットプレートにジェル缶を乗せて（密閉バンドを外してフタをする）230℃で約10分温めると周囲に付いたジェルがすべて落ちて取りやすくなります。終了まではフタを開けないようにしてください。ジェルの蒸気が充満しておりますので注意が必要です。

「気泡の少ないジェルボックスの作り方」

あらかじめジェルを高温（約115℃）にしてジェルの中に入っている酸素を追い出します。その後適温まで温度を下げると透明感のあるボックスが出来上がります。

新たなジェルを加えた場合も同じ作業をしてください。手直しは気泡を生み出しますので最低限にしましょう。

「皆様とのコミュニケーション強化について」

毎月勉強会等何らかのイベントを開催して参りましたが、なかなか参加率の向上が見られず、また1年を通して一度も会えない方も多くいらっしゃいまして残念な思いが続いておりました。

そこで来る2012年度から新たな試みとして、JIFAと皆様とのコミュニケーションをつなぐために、現在横浜市に1級ジェルマスター認定教室「フルールドアンジュ」を開室していらっしゃいます「野嶋由美」先生にお願いしまして、電話や直接面談にて皆様のご意見やご要望を伺う機会をつくろうと考えました。

忌憚のないご意見をいただきながら、皆様にとって居心地のいいJIFAの環境作りを目指して参りたいと思っておりますので、新年が明けましたら早速に教室の先生から順にお電話を差し上げますのでよろしくご対応の程お願い申し上げます。

「ジェルマスター・認定1級試験要項の変更について」

かねてからご要望が多かったジェルマスター・認定1級の最終試験地をJIFA本部だけでなく、各地域で実施できるようにと検討を続けて参りましたが、このたび別紙要綱にてジェルマスター・認定1級者の立会を得て試験を実施できることとなりました。

各教室の先生はもとより現在2級の資格を取得されています方は、この機会にふるってのご参加をお待ちしております。

「年末年始の休暇について」

12月30日～1月6日	までお休みさせていただきます。	
1月7日	仕事始めで出社します。	
1月8日～9日	お休み	
1月10日～	平常営業いたします。	以上